

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,111,598株
株主総数	4,425名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
タイガー興産有限会社	1,965 千株	9.8 %
タイガス取引先持株会	1,695	8.5
澤田宏治	888	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	879	4.4
株式会社京都銀行	776	3.9
T.P.C持株会	720	3.6
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	647	3.2
INTERACTIVE BROKERS LLC	624	3.1
タイガスポリマー従業員持株会	547	2.7
澤田裕治	480	2.4

(注) 持株比率は、自己株式(206,540株)を控除して算出し、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況

個人・その他	8,507,664株 (42.3%)
金融機関	4,093,019株 (20.3%)
その他国内法人	5,032,729株 (25.0%)
外国人	1,923,839株 (9.5%)
証券会社	347,807株 (1.7%)
自己名義株式	206,540株 (1.0%)

(注) 持株比率は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

株主メモ

SHAREHOLDER MEMO

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 https://tigers.jp/ ただし、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先・連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 ※取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申し出先	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金のお支払い	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

会社の概要 (2023年9月30日現在)

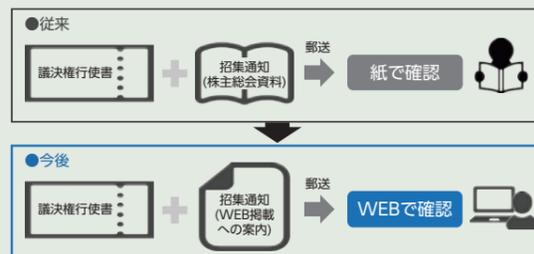
商号	タイガスポリマー株式会社 TIGERS POLYMER CORPORATION
設立年月日	1948年12月20日
本店所在地	大阪府豊中市新千里東町一丁目4番1号
資本金	4,149,555,676円
従業員数	連結：2,013名 個別：571名
事業の内容	合成樹脂、ゴム及びそれらの複合資材をもとに、ホース、ゴムシート、成形品、その他金型などの製造販売

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役社長	澤田宏治
取締役会長	渡辺健太郎
常務取締役	植田英司
取締役	井上宏章
取締役	渡邊剛
取締役	富田保彦
取締役	豊田裕之
取締役(社外)	河本高希
取締役(社外)	小西華子
監査役	田村洋一
監査役(社外)	釜中利仁
監査役(社外)	富山聡子

株主総会資料の電子提供制度について

2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。本制度により、株主総会資料は原則当社ホームページ等のウェブサイト上でご確認頂くこととなります。電子提供制度とは、2023年3月1日以降に開催される株主総会にかかる株主総会資料を、自社ホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主さまに対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知することで、株主総会資料を提供することができる制度です。電子提供制度は、上場会社に対して強制適用されることから、2023年3月1日以降に開催される株主総会から適用され、株主さまのお手元には、ウェブサイトへのアクセス方法を記載した簡易な通知書面のみをお届けすることになります。



株主総会資料の書面での受領をご希望される株主さまは、株主総会の基準日までに、「書面交付請求」のお手続きをお取り頂く必要があります。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先
東京証券代行株式会社 ☎ 0120-79-9001



証券コード:4231

第82期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

株主・投資家の皆さまへ

TOP MESSAGE



代表取締役社長

澤田 宏治

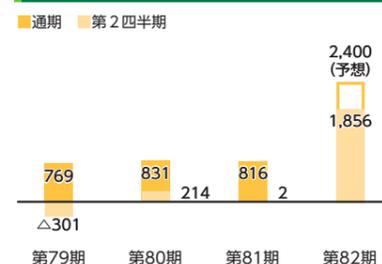
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第82期中間報告書(2023年4月1日から2023年9月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。当社は、1938年にゴムホース・工業用ゴム製品のメーカーとして創業しました。創業時より培ってきた、合成樹脂とゴムを材料に、「3つの技術(ホース、ゴムシート、モールド(成形品)を作る技術)」を使い、「4つの市場(家電、自動車、土木・建築・住宅、産業資材)」に販売、バランスの取れた経営戦略を構築し、ニッチな市場で高いシェアを獲得することを基本方針としております。さらには、「独自の技術で開発した機能部品を世界の市場に提供する」という方針に基づき、積極的な研究開発投資により、多種多様な「製品開発能力」並びに「性能解析能力」を高め、独自性の強い新製品を世界の市場に広く提供しております。また、「信念ある柔軟性」という社是のもと、時代の流れを着実に捉えながら、広い視野と見識を持って変化に向き合える人材の育成に専心するとともに、損得以前にまずは善悪を基準に自分たちが成すべきことは何かを定め、徹底した顧客指向によって、株主の皆さまや社会からの期待と信頼に応える企業として、さらなる飛躍を図っていきたくと考えております。なお、中間配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

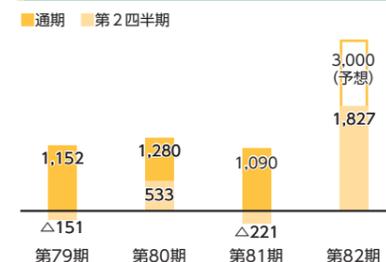
売上高 (百万円)



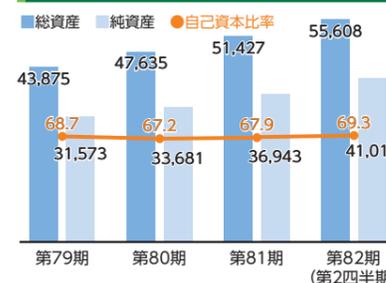
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は純損失 (百万円)



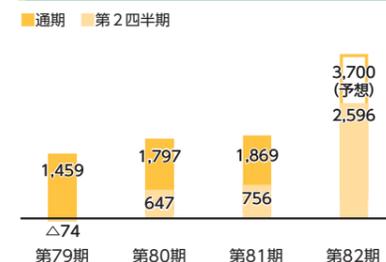
営業利益又は営業損失 (百万円)



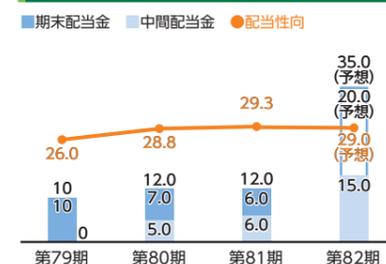
総資産 (百万円)・純資産 (百万円)・自己資本比率 (%)



経常利益又は経常損失 (百万円)



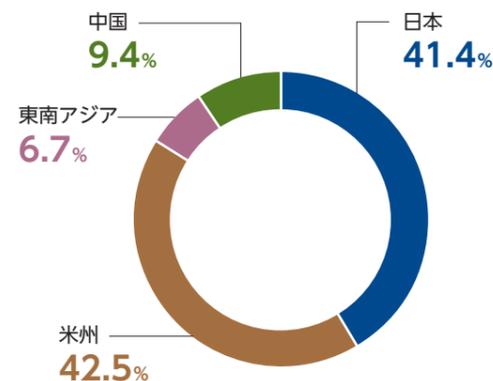
配当金 (円)・配当性向 (%)



日本

家電用ホース・産業用ホース・ゴムシート類の販売は減少しましたが、自動車部品の販売が増加し、売上高は10,675百万円（前年同四半期比274百万円2.6%増加）となりました。増収の影響や諸経費の減少等により、セグメント利益（営業利益）は502百万円（前年同四半期比380百万円313.4%増加）となりました。

売上高構成比



米州

米国では、自動車部品・産業用ホースともに販売の増加に加えて、円安による為替換算上の影響もあり、増収・増益となりました。メキシコの自動車部品は、円安による為替換算上の影響があり増収となりましたが、人件費や諸経費の増加等により減益となりました。その結果、売上高は10,956百万円（前年同四半期比2,295百万円26.5%増加）、セグメント利益（営業利益）は1,197百万円（前年同四半期はセグメント損失507百万円）となりました。

東南アジア

タイでは、自動車部品のタイ国内や米州向け販売が増加したことや円安による為替換算上の影響等により、増収・増益となりました。マレーシアでは、家電用ホースの販売が減少したこと等により、減収・減益となりました。その結果、売上高は1,723百万円（前年同四半期比161百万円10.4%増加）、セグメント利益（営業利益）は99百万円（前年同四半期比14百万円12.7%減少）となりました。

中国

中国では、自動車部品・家電用ホースともに販売が減少したことにより、売上高は2,426百万円（前年同四半期比517百万円17.6%減少）となりました。減収の影響等により、セグメント損失（営業損失）は42百万円（前年同四半期はセグメント利益10百万円）となりました。

トピックス

国際プラスチックフェアIPF Japan2023に出展

当社は2023年11月28日から12月2日まで開催の「IPF Japan2023」（会場：幕張メッセ）に、国内の汎用品販売の営業部、自動車メーカー専門のオートモーティブ営業部、新たな価値を創造する新規事業部の3部門が協力して、以下の製品を出展しました*。

*本件は2023年11月15日時点の記載です。

【営業部】

- ▶ バイオマス材料を使用した製品を「BMシリーズ」として3種類
- ▶ 難燃性を有する製品を「難燃シリーズ」として4種類（ex.難燃GL-HG）*1
- ▶ 従来製品より耐圧耐摩耗性能を向上させた「タイパワーWR-SM」
- ▶ 低比重と物性を両立したゴムシート「タイかるシート」

【オートモーティブ営業部】

- ▶ ドレンコック付き配管や複数の配管を一体化した水冷配管
- ▶ 結合部にPL（金型割面）の無い機能性を有したJOINT部成形品
- ▶ スーパーエンプラ材による発泡成形品*2
- ▶ 曲げ加工が容易なスーパーエンプラ製の長尺な押出樹脂ホース
- ▶ 止水性を確立させた金属インサート樹脂成形品

【新規事業部】

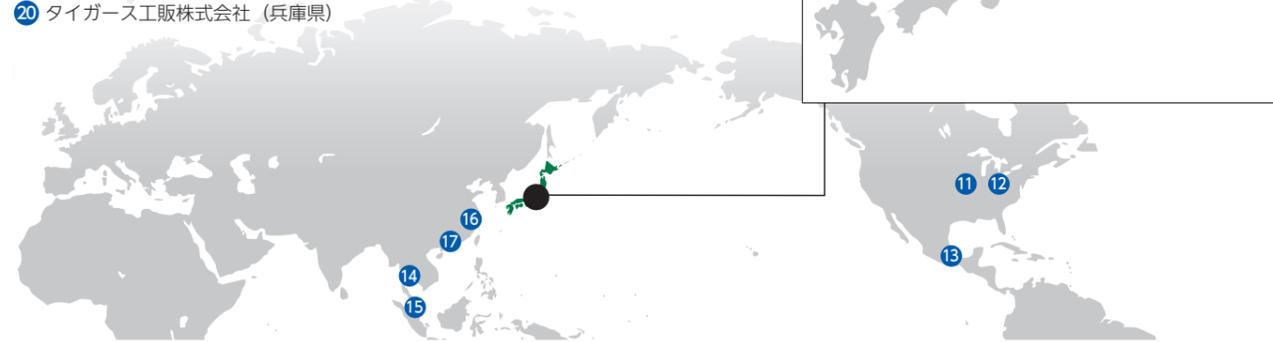
- ▶ ロボットハンド用柔軟指「ソフトラロボ」*3



グローバルな生産・供給体制を構築

タイガースポリマーグループでは、国内外に生産拠点・販売拠点・開発拠点を展開し、日本国内の事業所及び国内・海外の子会社との有機的なネットワークを形成することにより、グローバルな生産・供給体制を構築しています。

- ① 本社 ② 東京支店 ③ 名古屋支店 ④ 大阪支店 ⑤ 広島支店 ⑥ 栃木工場
- ⑦ 静岡工場 ⑧ 岡山工場 ⑨ 開発研究所 ⑩ 購買部
- ⑪ Tigerflex Corporation (米国) ⑫ Tigerpoly Manufacturing, Inc. (米国)
- ⑬ Tigerpoly Industria de Mexico S.A. de C.V. (メキシコ) ⑭ Tigerpoly(Thailand)Ltd. (タイ国)
- ⑮ Tigers Polymer (Malaysia) Sdn.Bhd. (マレーシア) ⑯ 杭州泰賀塑化有限公司 (中国)
- ⑰ 広州泰賀塑化有限公司 (中国)
- ⑱ 武庫川化成株式会社 (兵庫県) ⑲ 高槻化成株式会社 (大阪府)
- ⑳ タイガース工販株式会社 (兵庫県)



研究・開発

独自性の高い新製品の提供で、市場ニーズを先取り持続可能な社会へチャレンジ

当社は、お客様に価値の高い製品を提供する社長方針に基づき、ゴム、樹脂を原料に様々な成形技術を駆使して、機能設計・提案・開発・保証を行いながら、日々研究開発に取り組んでいます。また、第82期より開発体制の再編を行い、各セクションのやるべきことを明確にして、よりスピード感を持って新しい物への研究・開発にチャレンジを行っています。

今後も、新しい技術を用いた研究開発においては、カーボンニュートラルに向けた取り組みや電動化部品の研究開発に、そして産業用ホース、理化学用・食品用チューブ、インフラ向けゴムシートといった製品においては、市場のニーズを先取りするだけでなく、持続可能な社会への貢献できる製品開発にチャレンジし続けます。



電動車用部品

